

2025 年 10 月 9 日
株式会社みずほ銀行

国内初のスタートアップ向けグロースバイアウトファンド 「Coalis1 号ファンド」への出資について

株式会社みずほ銀行（頭取：加藤 勝彦、以下「みずほ銀行」）は、この度、株式会社 Coalis Capital（代表取締役：原田 明典、以下「Coalis Capital」）が設立した、国内初のスタートアップに特化したグロースバイアウトファンド「Coalis1 号投資事業有限責任組合」（以下「Coalis1 号ファンド」）へ出資しました。

同ファンドは今後、総額 200 億円規模まで拡大する予定であり、みずほ銀行は主要投資家として、最大 65 億円を出資します。

グロース市場の低迷や上場維持基準の厳格化を背景に、国内スタートアップは、スモール IPO への対応や EXIT 戦略の多様化に向けて、より長期の成長期間の確保や大企業との連携が、新たな成長を実現するための重要な選択肢となっています。

こうした状況を踏まえ、これまでみずほ銀行は、スタートアップ・エコシステムにおける新たな M&A 市場の創造とセカンダリー市場の活性化に向け、スタートアップ M&A に深い知見・ノウハウを持つ株式会社 Coalis との同分野における業務提携契約の締結^{※1} や、アジアのセカンダリー領域において最大規模の運用資産を誇る独立系運用会社 Bee Alternatives Limited が運営するセカンダリーファンドへの出資^{※2} をしてきました。

今回出資する Coalis1 号ファンドは、スタートアップのマジョリティ持分を取得し、起業家とともに事業戦略を再構築することで、事業を確かな成長軌道に乗せたうえで事業革新をめざす大企業に引き継いでいく、国内初となるスタートアップに特化したグロースバイアウトファンドです。

みずほ銀行は、同ファンドに最大持ち分の投資家として出資参画するとともに、株式会社 Coalis との業務提携契約に基づき、スタートアップ M&A の活性化に向けた、アドバイザリーサービスの提供やネットワーク・顧客基盤の共有およびデットファイナンスの活用等について協業を深めていくことで、スタートアップ・エコシステムの課題である、新たな M&A 市場の創造に向けた取り組みを進めていきます。

今後も〈みずほ〉は、スタートアップと大企業の連携深化およびスタートアップの EXIT 戦略の多様化を積極的に支援することで、スタートアップ・エコシステムひいては日本経済の更なる発展に貢献していきます。

【本ファンドの概要】

正式名称	Coalis1 号投資事業有限責任組合
運営会社	株式会社 Coalis Capital
LP 投資家	住友商事株式会社、SOMPO Growth Partners 株式会社、株式会社みずほ銀行、三井住友信託銀行株式会社（五十音順）
投資対象	ミドルからレイターステージのスタートアップ
設立日	2025 年 10 月 1 日

【Coalis Capital の概要】

会社名	株式会社 Coalis Capital
本社所在地	東京都渋谷区渋谷 2-24-12
設立	2025 年 2 月
代表者	代表取締役 原田 明典
資本金	10 百万円
事業内容	ファンドの運営および管理

※1 2025 年 7 月 25 日付ニュースリリース：

スタートアップ・エコシステムにおける新たな M&A 市場の創造とセカンダリー市場活性化に向けた取り組みの強化ースタートアップ M&A 分野での業務提携契約の締結についてー

https://www.mizuhobank.co.jp/release/pdf/20250725_2release_jp.pdf

※2 2025 年 7 月 25 日付ニュースリリース：

Bee 7 Secondary L.P. への出資について

https://www.mizuhobank.co.jp/release/pdf/20250725release_jp.pdf

以 上